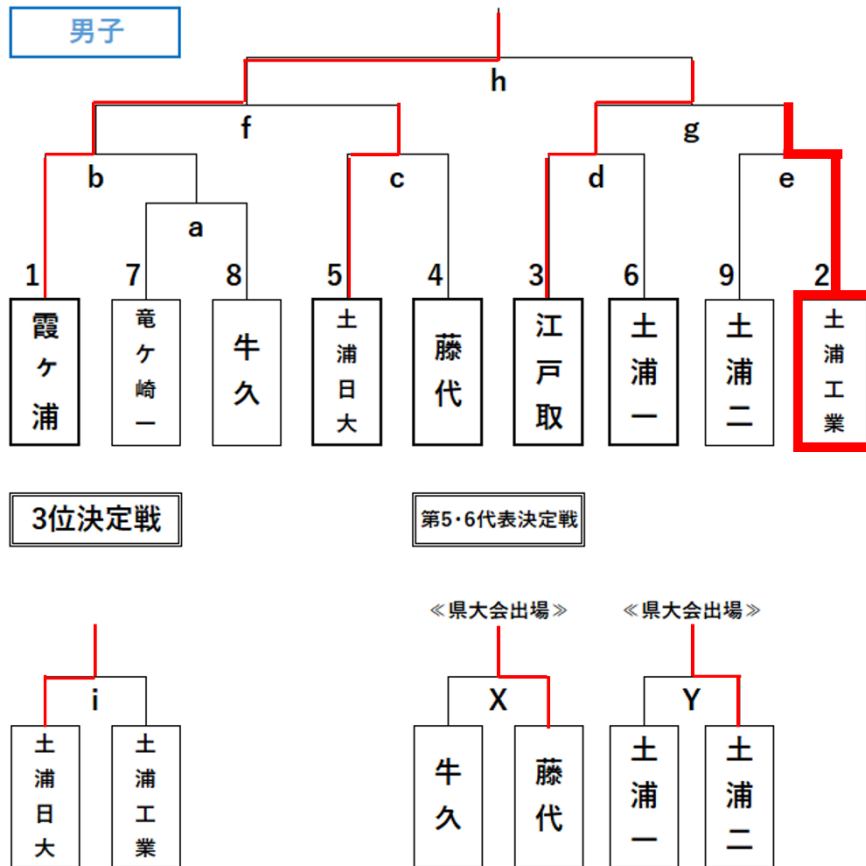


# 令和6年度 関東高等学校ハンドボール県南地区大会 結果詳細

## 【県南地区大会】



### (1) 初戦(e) VS 土浦二高 26対10 勝利

勝って県大会出場を確実にしたい重要な一戦。試合は前半、相手に簡単にはシュートを打たせずに粘り強くDFした。守って速攻を体現し、得点を重ね、前半終了時点で13対4とした。後半も同様にしっかりと守り、速い攻めで得点。26対10として、準決勝進出および県大会出場を決めた。1年生ながら出場し、デビュー戦となった大里だが、この試合では得点を決めることができなかった。動きは良かっただけに、次の試合以降に期待大。

### (2) 準決勝(g) VS 江戸川学園取手 11対26 敗北

決勝進出をかけて臨んだ江戸川取手との一戦。序盤から、相手の堅いDFを破ることができず、得点を奪えない。また、相手のCB、RBのロングシュートやカットインシュートで得点を決められる。粘り強くDFをしたが、最後まで差を詰めることができず、15点差で敗退。3位決定戦に回る事となった。

(3) 3位決定戦(j) VS 土浦日大 16対21 敗北 (関東県南4位)

ジュニア大会で対戦し勝利した土浦日大との3位決定戦。前半、自分たちの得意な速攻の形をうまく封じられ、流れをつかむことができない。コートを広く使ったOFで、様々なポジションから得点を奪われ、5対12と劣勢で折り返した。後半、ようやく攻撃の流れをつかみ始め、LB小松を中心に得点を奪っていく。後半のみのスコアは11対9と盛り返したが、最終スコア16対21で敗戦、新人戦に続いて関東大会県南予選も4位となった。

【県大会】

(1) 初戦 VS 藤代紫水 6対48 敗北 (初戦敗退)

新人戦に続いて、県大会の初戦はまたも藤代紫水高校。「1人1得点」を目標にして再戦した。開始30秒でLB小松がロングシュートを決め、紫水相手に先制点を挙げたが、そこまで。すぐさま追いつかれ、相手のOFを止めることはまたしてもできなかった。

3年生にとって次は最後の大会となる。3年間の集大成として、彼らの精一杯のパフォーマンスに期待する。